

平成28年度うちエコ診断実施結果

☆平成28年度診断実施件数:823件

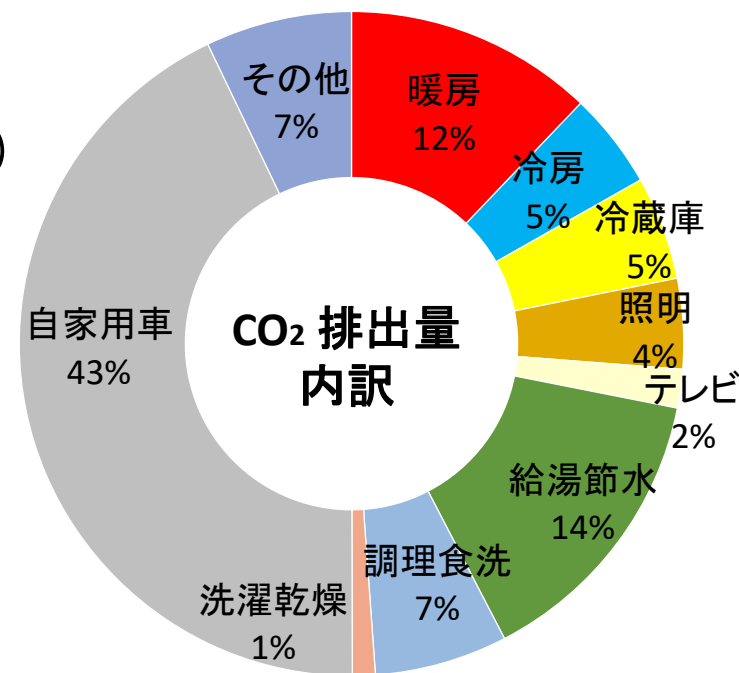
訪問診断:517件、窓口診断:11件、団体診断:88件、会場診断:207件

☆CO₂排出量と削減効果(アンケート回収率:57%)

診断実施時:6,389 kg-CO₂/年/世帯(n=823)

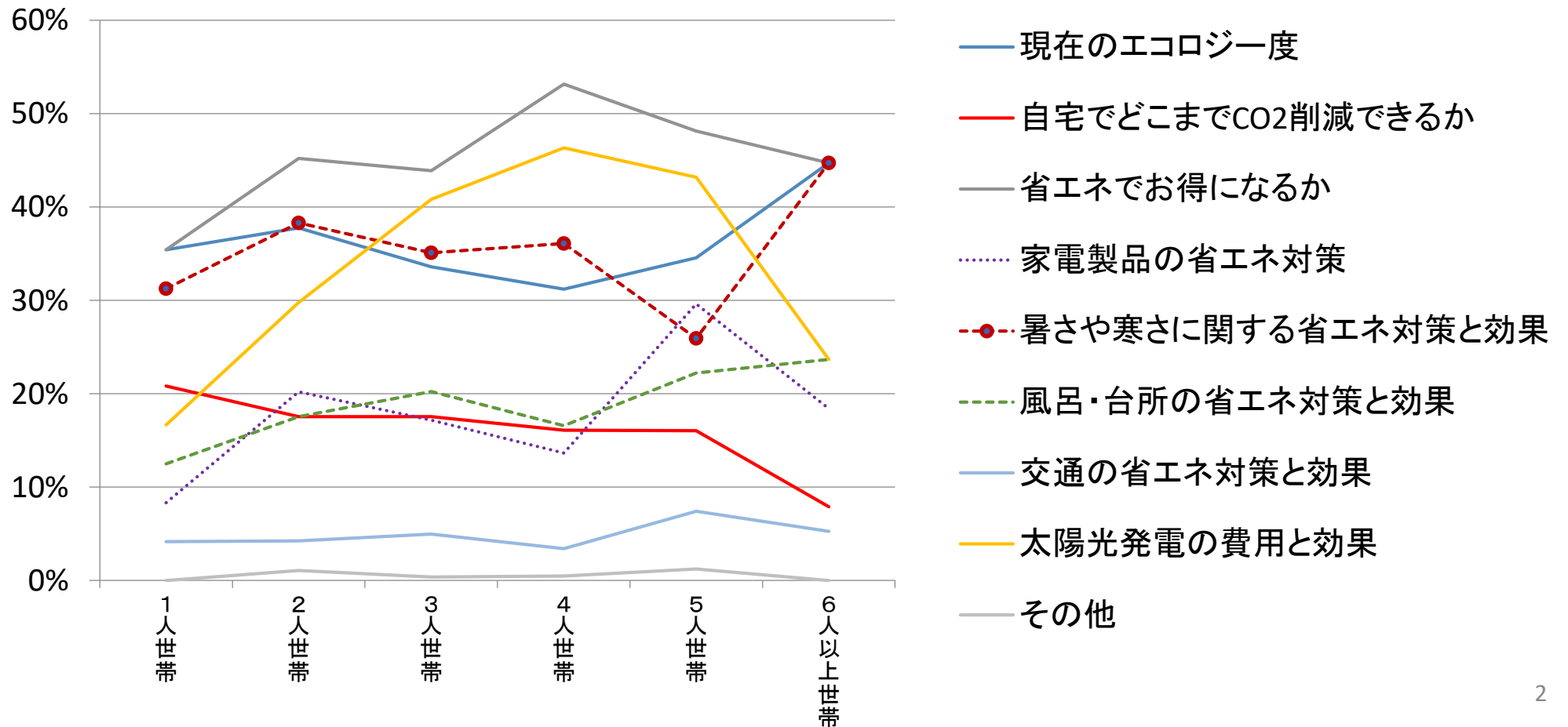
平均世帯人数:3.26人

事後調査時:2,969kg-CO₂/年/世帯(n=470)



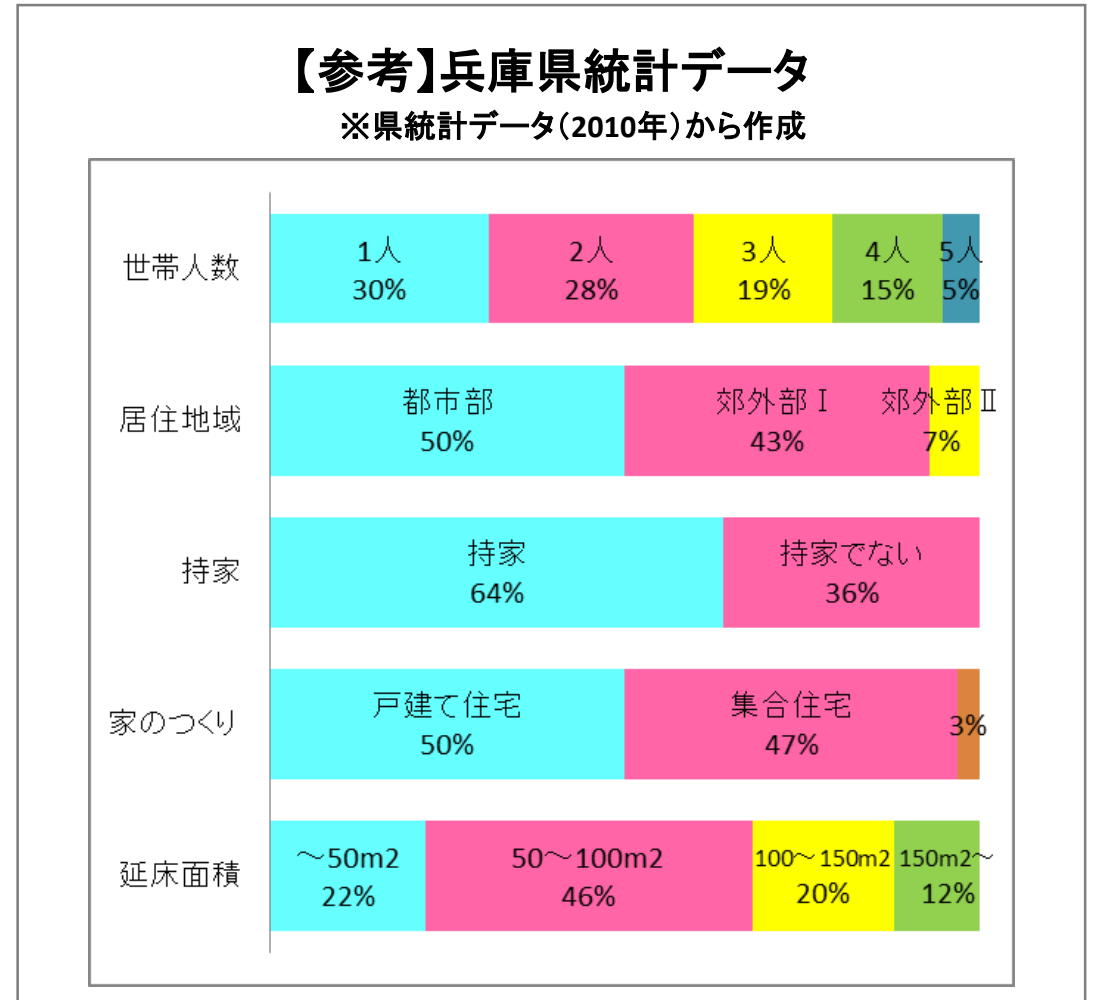
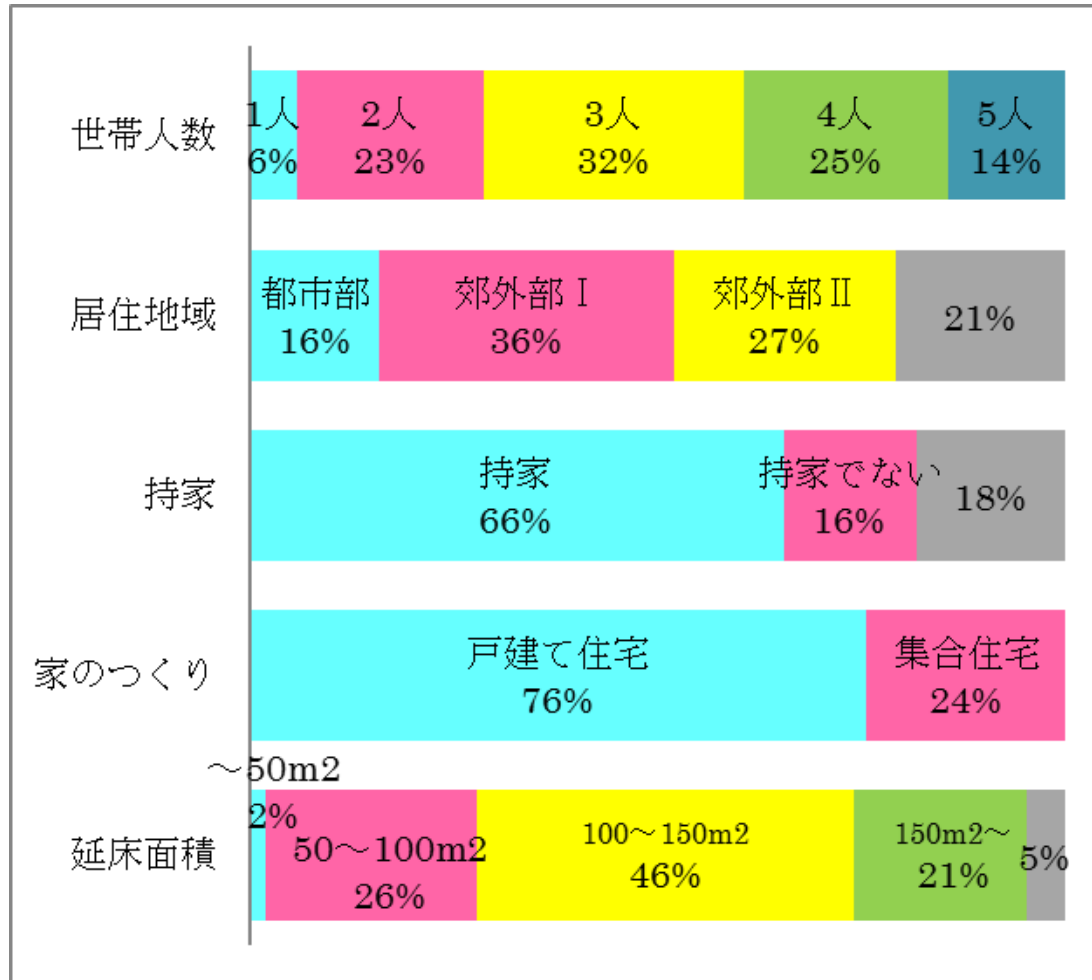
うちエコ診断での関心項目

- ◆全般的に、「省エネでお得になるか」「暑さ寒さ対策と効果」「現在のエコロジ一度」「太陽光発電の費用と効果」の関心が高く、「交通」分野の関心が低くなっている。
- ◆「太陽光発電」については、比較的人数が多い3~5人世帯で関心が高い一方、「自宅でどこまで削減ができるか」については、少人数の方が関心が高くなっている。



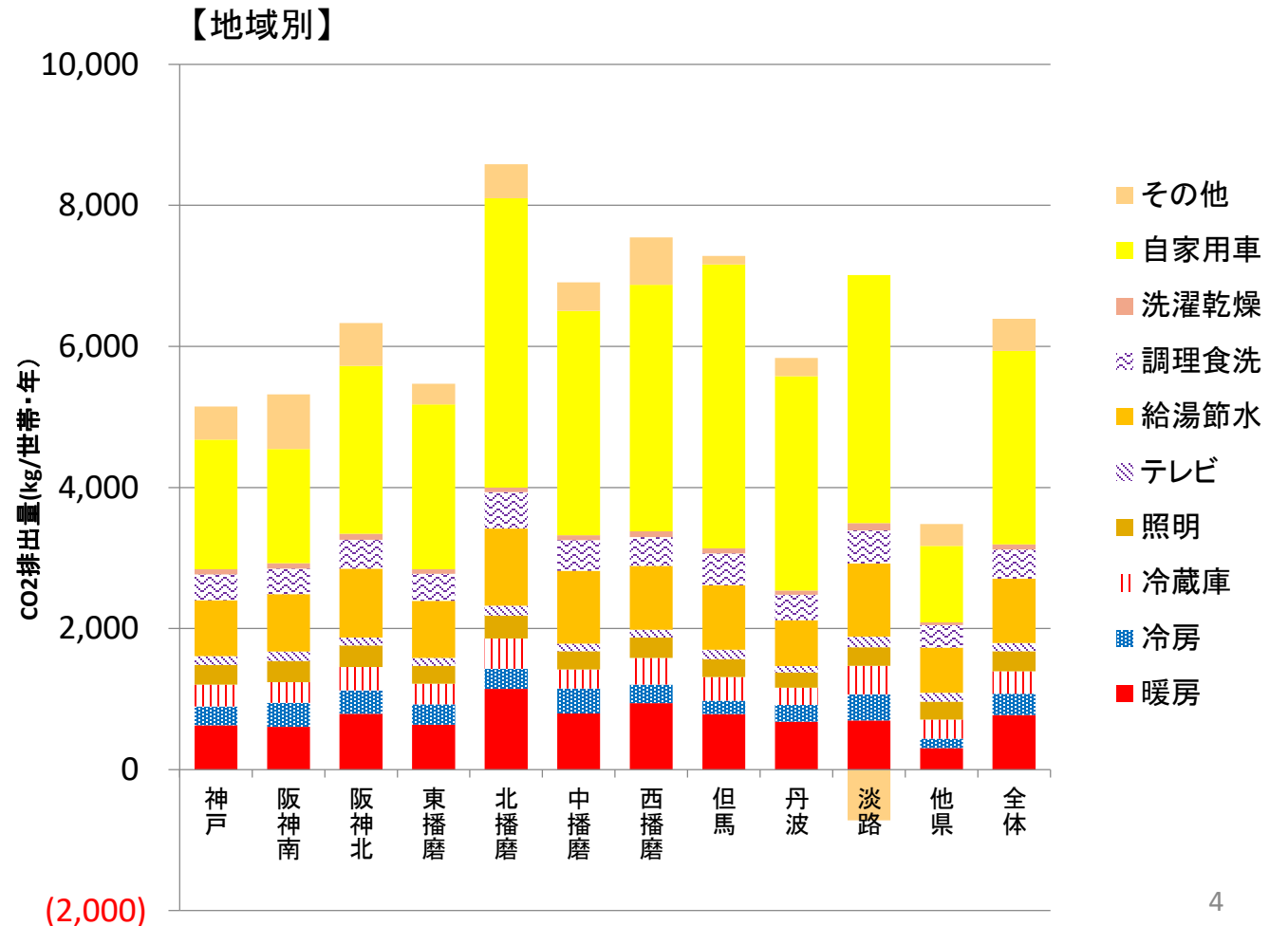
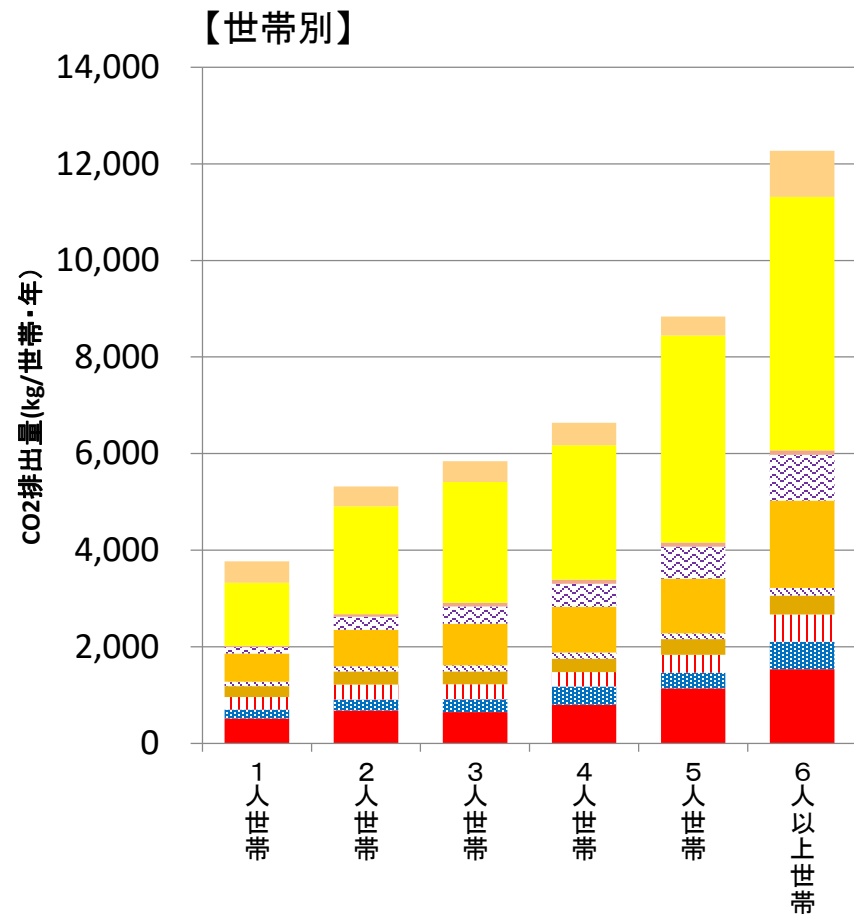
受診者の属性

- ◆ 昨年度の傾向として、例年同様、戸建住宅、延床面積100～150㎡の割合が大きい。
- ◆ 背景として、兵庫県融資制度やHEMS機器設置補助金利用の受診者の割合が多いことが考えられる。



CO₂推定排出量(世帯別・地域別)

- ◆世帯別では、自家用車の割合が、世帯人数に比例するように大きくなっている。
- ◆地域別では、但馬・北播磨・丹波など北部がCO₂排出量が多い。自家用車からの排出量が大きく影響している。
また北部の方が気温が低く暖房負荷が大きいほか、世帯人数が多く、延床面積も多いことも影響している。

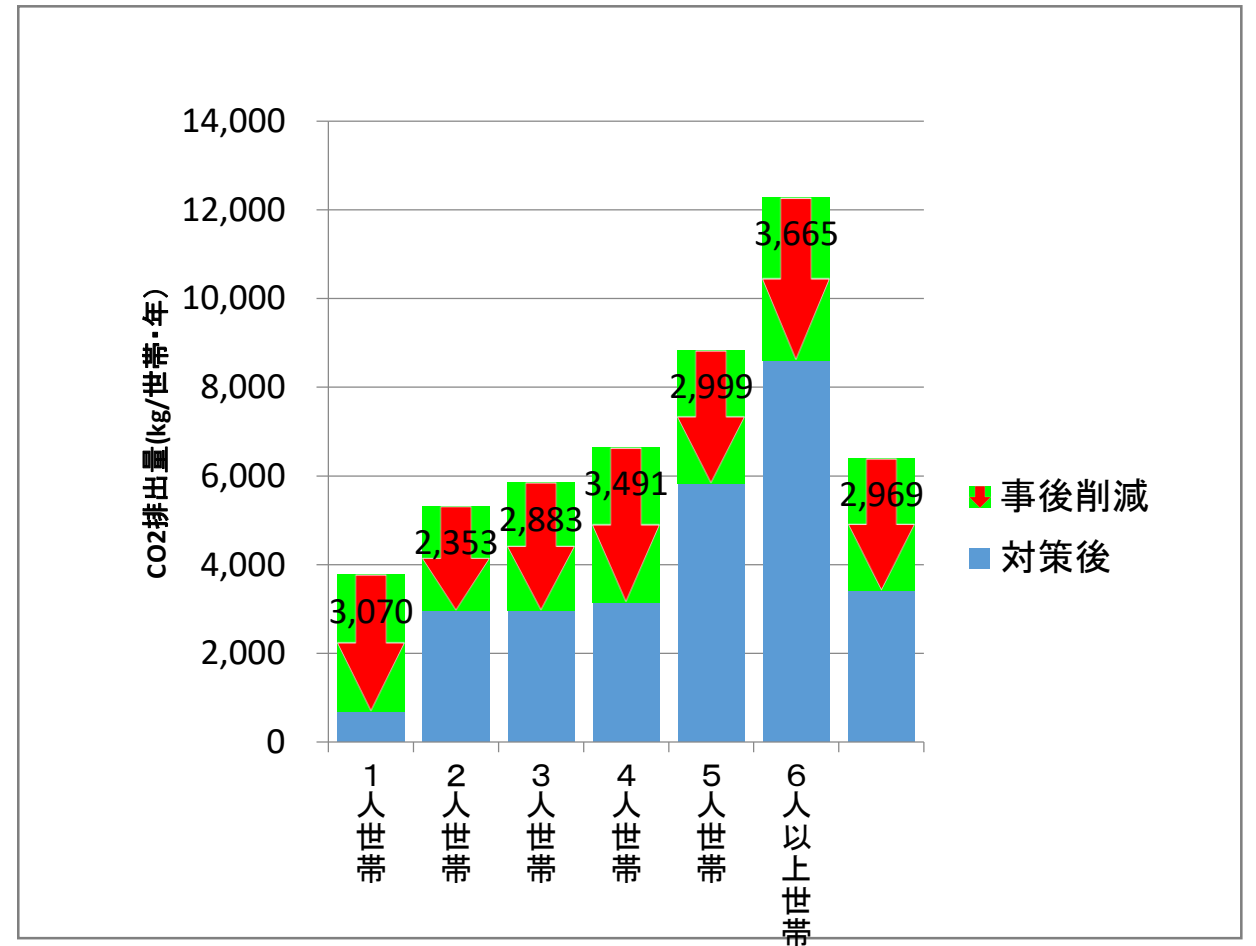


CO₂推定排出量

CO₂推定削減量 **2,969kg/年/世帯**(削減率**46%**)

◆太陽光発電設備等、大幅にCO₂削減となる項目を実行したことによると考えられる。

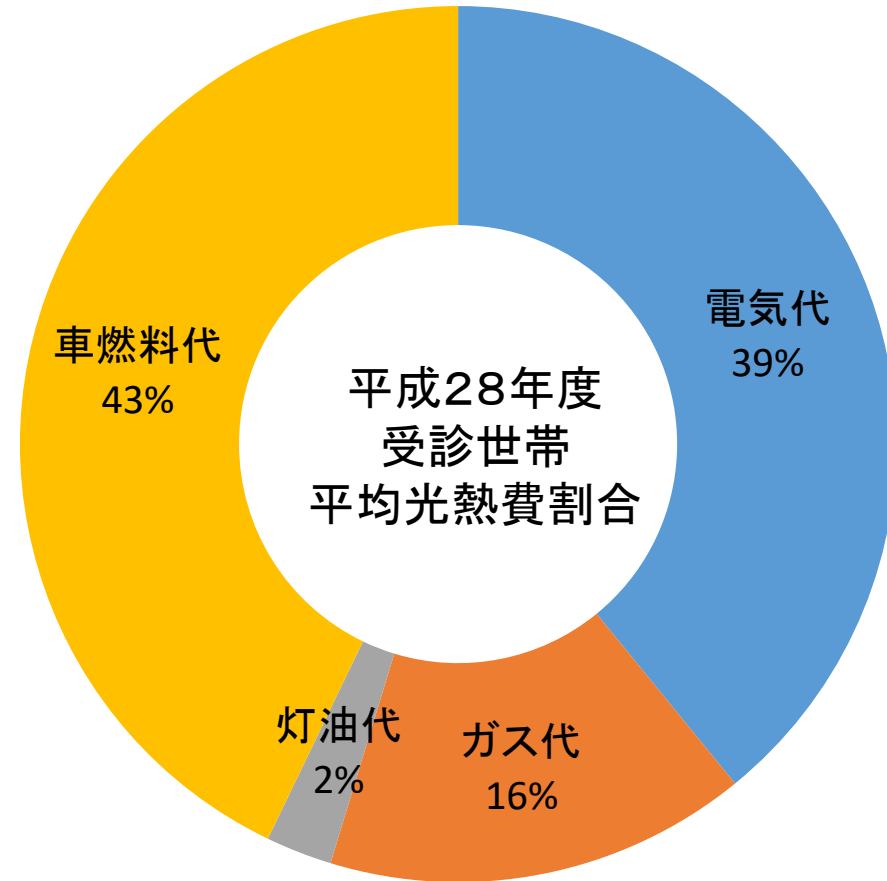
	診断前CO ₂	事後削減	事後CO ₂	削減率
1人世帯	3,765	-3,070	695	-82%
2人世帯	5,318	-2,353	2,965	-44%
3人世帯	5,842	-2,883	2,959	-49%
4人世帯	6,637	-3,491	3,146	-53%
5人世帯	8,840	-2,999	5,841	-34%
6人以上世帯	12,272	-3,665	8,608	-30%
全体	6,389	-2,969	3,420	-46%



光熱費内訳

	電気代	ガス代	灯油代	車燃料代
1人世帯	8,022	3,094	541	5,513
2人世帯	8,698	4,374	559	9,508
3人世帯	9,329	4,432	569	10,690
4人世帯	11,819	4,295	549	11,884
5人世帯	12,828	4,632	1,184	18,322
6人世帯	12,828	2,844	1,579	22,301
全体	10,672	4,257	667	11,694

世帯人数別の平均光熱費(円/月・世帯)



◆ 平成28年度受診世帯の平均光熱費: 27,290円/月
(平成27年度受診世帯の平均光熱費: 26,269円/月)

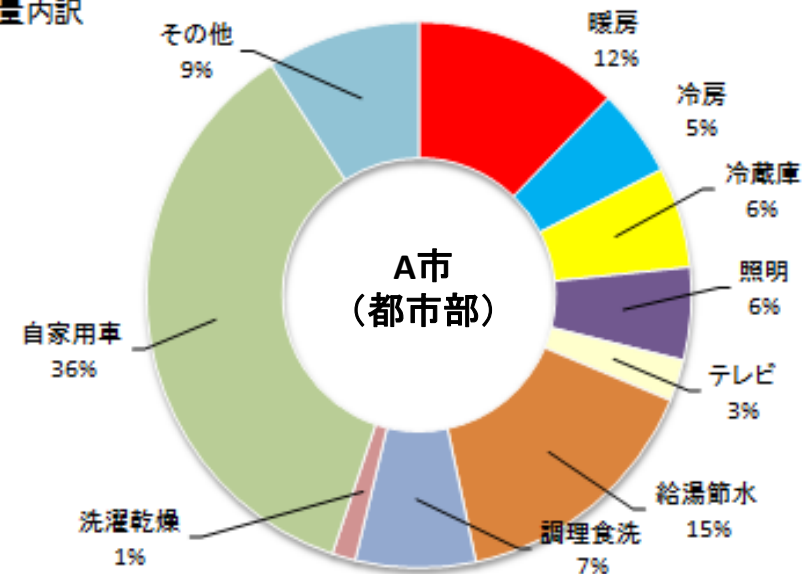
市町別比較

	受診者数	CO2排出量 (CO2-kg/世帯)	CO2削減量 (CO2-kg/世帯)	平均世帯数 (人/世帯)
兵庫県	823	6,389	△2,969	3.26
A市 (都市部)	130	5,146	△2,463	2.96
B市 (郊外部)	69	9,449	△1,815	3.62

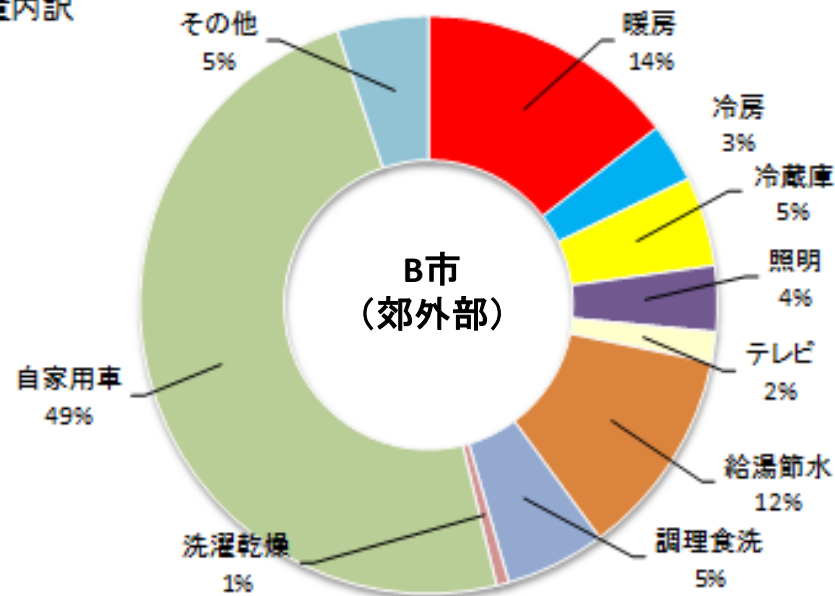
(円/月)

	電気代	ガス代	灯油代	車燃料代
兵庫県	10,672	4,257	667	11,694
A市 (都市部)	9,396	5,096	190	7,863
B市 (郊外部)	12,148	2,717	2,286	19,283

CO2排出量内訳

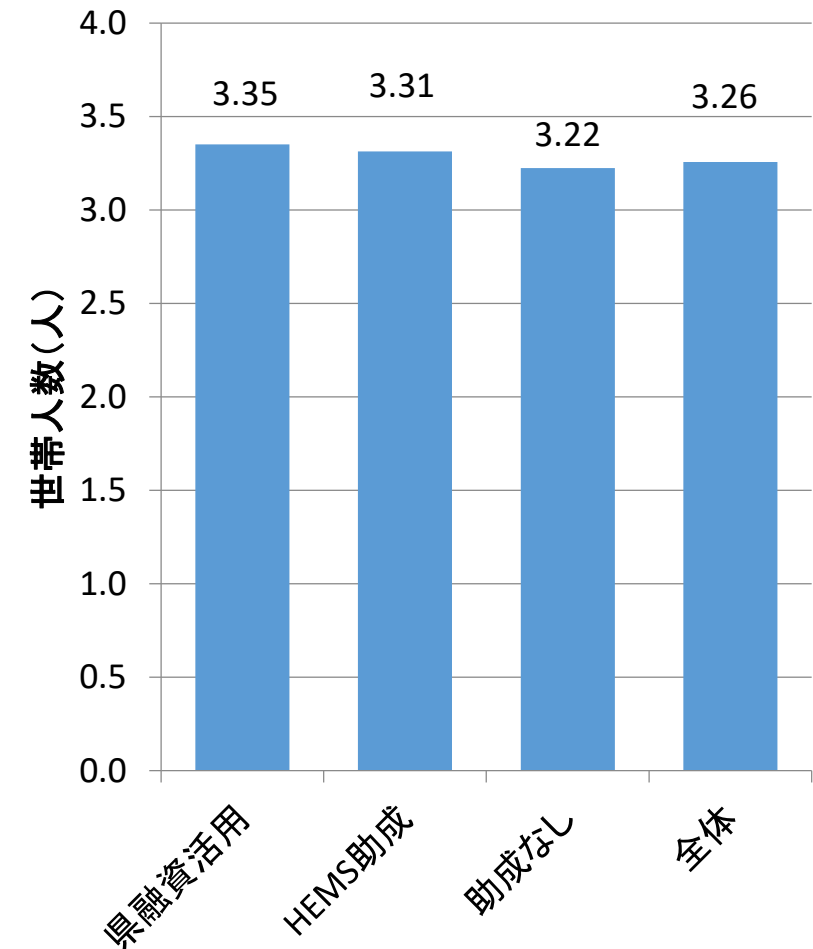
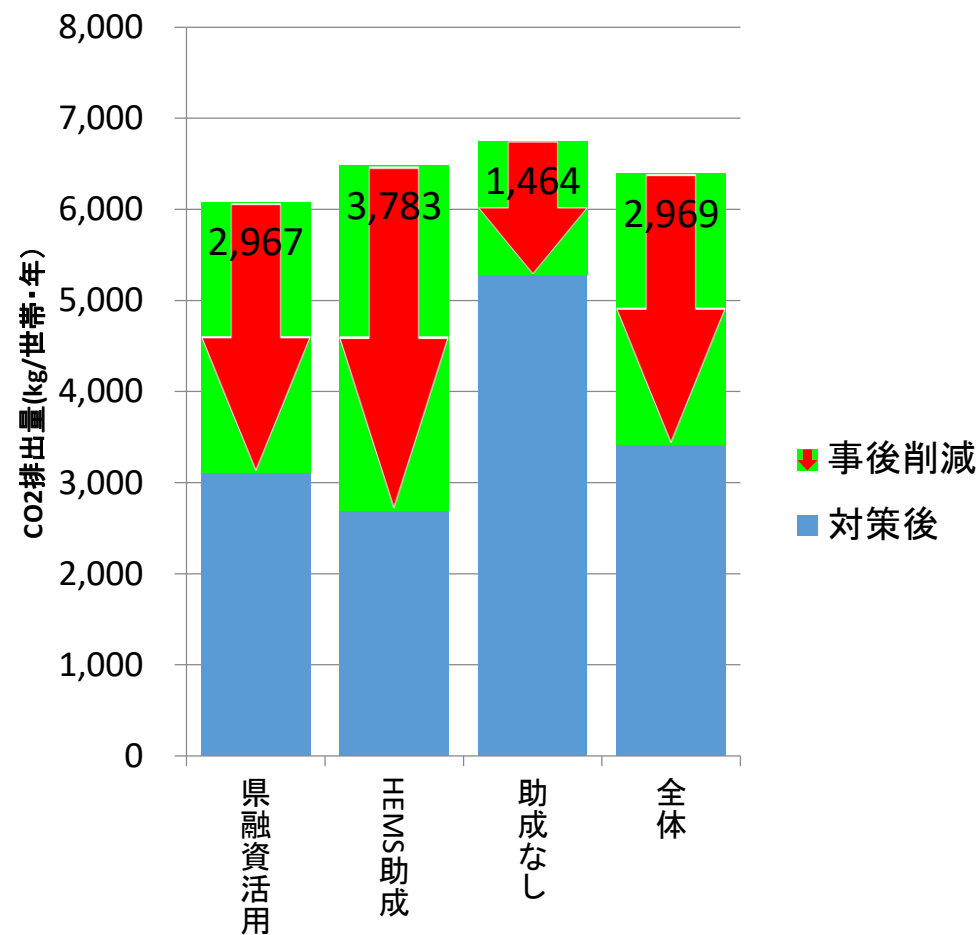


CO2排出量内訳



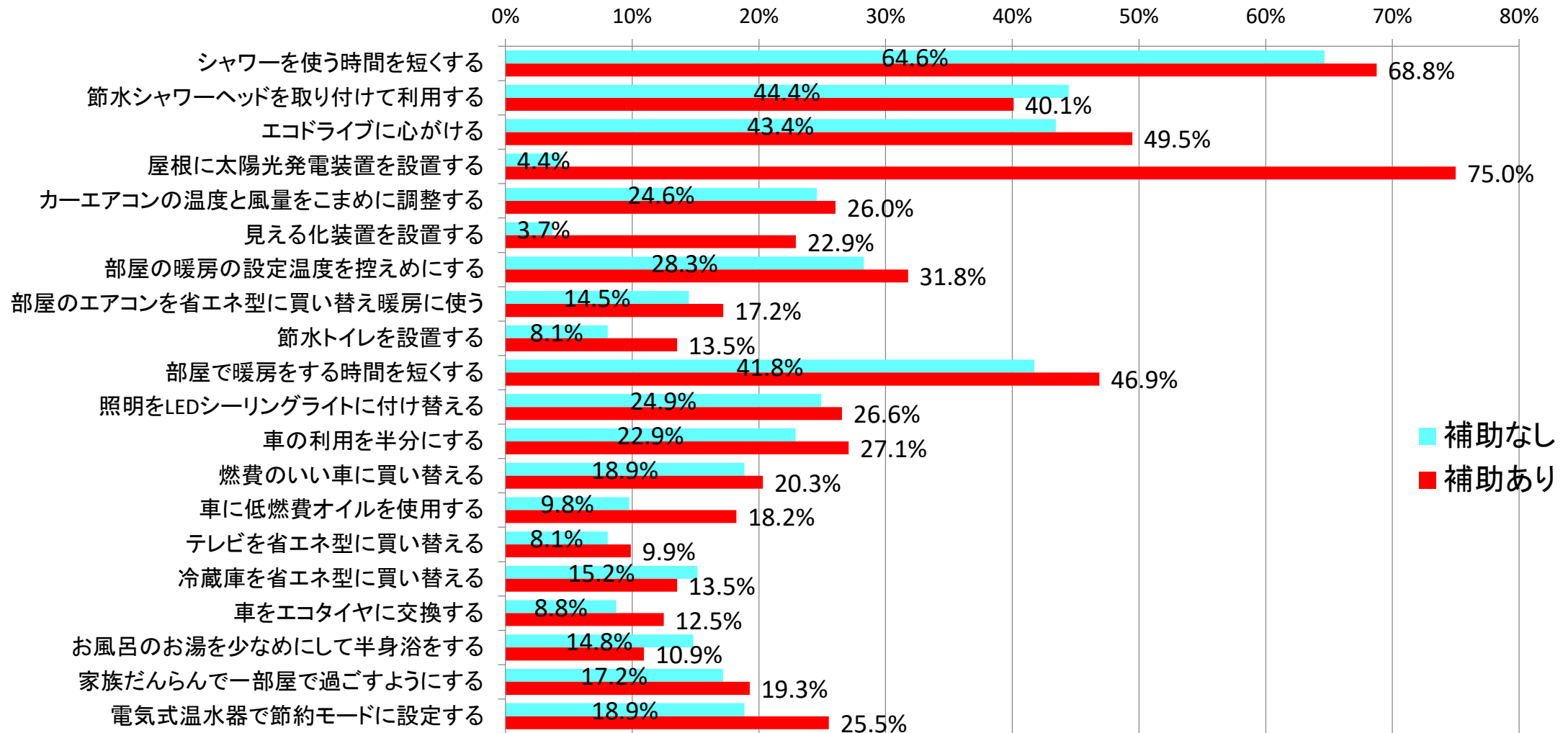
助成の有無による削減率の比較

◆助成なしの世帯では、1,464kgの削減(22%削減)だったのに対し、助成を活用した世帯は、県融資で2,967kgの削減(49%)、HEMS補助で3,783kg削減(58%削減)と大幅な削減効果があった。



助成の有無による対策提案の実施率

- ◆ライフスタイル対策では、シャワー使用時間の短縮、エコドライブ、暖房時間の短縮などが昨年度同様4割以上の実施率となった。
- ◆全体的に、補助ありの家庭の方が、取り組み割合が全般的に高い傾向がある。



診断後の行動変容

- ◆ 診断受診後の行動変容については、新しく太陽光設備を設置する、冷蔵庫を買い換えるといった「買い替え行動」とエコドライブを実施する、シャワーの使用時間を控えるといった「ライフスタイル対策」に分けて調査を実施した。
- ◆ 年度別推移では、買い替え行動の実施率が増加している。
- ◆ 買い替え行動の実施率増加については、融資制度及び補助金制度によるものが大きいと考えられる。
- ◆ 行動変容では、給湯節水、自動車での対策の実施率が高く、次いで家電、暖房となった。

行動変容実施件数(件/世帯)

